

公共施設のあり方を考える

— 高浜市を次世代へ
つなぐために —

「翼小学校区の公共施設のあり方」

市では、平成21年度から公共施設の老朽化問題が喫緊の課題にとらえ、公共施設のあり方検討に取り組んできました。昨年11月からは新庁舎の建設工事や小学校区ごとの市民説明会を行うなど、高浜市を次世代へつなぐための具体的な一歩を踏み出しています。

市民の皆さんと現状・課題を共有し、ともに知恵と工夫を出し合って、この問題に向き合っていくため、今回は、翼小学校区の公共施設のあり方について、現在の検討の方向性などを紹介します。

■高浜市がめざす公共施設の姿

現行ある施設以外に、新しい公共施設はつからない!

学校を地域コミュニティの拠点として位置付け、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施し将来にわたり持続させる。

■翼小学校区における公共施設マネジメント 現在の検討の方向性

学校は耐用年数の長寿命化(大規模改修：35年、建替え：70年)の観点に立ち、維持をしていきます。

①翼小学校の大規模改修

今後も維持していく施設として、大規模改修を進めます。

②高浜中学校の建替えにあわせ、他施設の機能を複合化

建替えにあわせて集会施設などの機能を移転し、施設を複合化することによって、高齢者・親世代・こども・地域住民が集い、交流が生まれる新たな地域活動拠点の形成をめざします。

【高浜中学校の複合化イメージ】



※今後、移転機能・時期などについて市民の皆さんと協議していきます。

※南中学校(港小学校区)は、学校単独施設として維持をしていきます。(大規模改修:H39~H40、建替え:H59~H60)

③翼ふれあいプラザのあり方の検討、保有形態の見直し

翼ふれあいプラザは、現在、民間施設を借用して運営しています。今後、まちづくり協議会の活動拠点のあり方を考える中で、状況に応じて学校への機能移転、保有形態の見直しなどを検討します。

■複合化のスケジュール (案)

施設名	時期
翼小学校	H48~H49 大規模改修
高浜中学校	H35~H36 大規模改修
(学校複合化対象施設)	H53~H54 建替え
	H50~H54 複合化・跡地の検討
翼ふれあいプラザ	H36~H37 あり方検討 ★H38 保有形態の見直し

◆公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック!

問合せ先 困行政グループ ☎52-1111 (内線351)



▲翼小学校



▲高浜中学校